吏員退職給與施邑面長及び邑面

責任追求ご報獎の確立

※こかの数単では小がならぬがまた、大概がであっことを治域をまた、大概がであっことを治域をまた、全面的にこれがであっことを治域となった。と同様に、全面的にこれが

の表現、出し、語言であるかとうなどの経過音を選出、 「特別、語言を表現、 「表現に対している。 というした、 というした 「一般に対している。 「一般に対している。 「一般に対している。 「一般に対している。」 「一般に

実が行はれればなりない。 脳地令 る。 風功戦の延ぎ経難制度、その 関しても同時に戦闘なる優性の道。 戦も行はれればなりぬ道理であ

四月一日より施行するが、顕純、一

台殿、脚太および閉洋酢島は來る

半島は四月施行

第一、退職給與の種目

も整備すること人なつたが、これと

な時呂国において立替支給するこ

用しの事業主の國献に終入すべき旅機との職業制に管理工場文は指定工場との旅機制に管理工場文は指定工場

事業主支給

変観として受取るに述びない。しのでないが、解釋著は確に一つの

殿な潜心がようもこと、かくる際段者に対してはもつとい

めて適切でなければならない。

らは考へる。その意味で、

**他府定例參集** 【图念

石は現存の各道地方互助資を興施設置施契削を競表した

一宮 優たりし 期間

達するまでこれが安治を停止す

在戦會員への措

挟助料、死亡治與金を支給せしめ

規定したもので、満層現

戦じたる金額とけること 平均報間月額に
企會年の
年敷を

給興等を擴充

邑面職員へ優遇の道

**岩脈前の後存動脈治北支脈源を注一量単圧線維を下してこれを完美。「七名とともに郷脈後町脈まで深く」長力約百五十が郷々と増郷し来り、寒寒の底脈を骨んで、紫脈像の一候離脚を無けてみるが、その部と「等兵は田田少段に拝あられ際負十一颗を占領、橡漿方面より新たなる** 

既にこの時間歌なる歌は台上の

至高・軍人精神の精革

敵チエツコ機關銃座を撃摧、友車の危機を救ふとともに敵の重国下になほも死闘猛攻を續

つた鬼神も哭く特別志願兵金本定信一等兵(平北宣川郡深川面五峰洞九一五出身)の勇戦 け惜しく<br />
も身に敵弾を浴び死力を蓋しての<br />
ち逐に手榴弾を<br />
もつて自爆、<br />
壯烈靖國の華と散

不撓不屈倒れて後已む旺盛なる責任威に徹

り得けたのである。この従続ごそはい言気感にあうてひたすら兵事にいそしむ。陽門忠城の墨兵、晴れて今年から精霊墓壁 したその武勳は逐次上申され〇〇部隊長から賞詞を授けられ、散つてなは燦たる築譽を贏

出烈・手榴弾で 自爆

一信定本金

レき細胞は悪めれてある、僧別 売棚兵を本定権一等点は山風電海 脚駅〇〇窓際窓と近端され東き任 窓についてゐた、雲頭る昭和十九 年一月廿四日早前五時廿分、翌加

型 前端した、能差に致ぐるや、 対 くるがが明に参えればは窓様を が 着けせて来た。 直多に機能、 既走 力 一方能素を振響、 緊破に能の ため 力 一方能素を振響、 緊破に能の ため

兵等

米邊加豫算大削減

一六日州びる智治よび攻府各部側の一次間によれば、下院際出発は重は

後一院中からの本氏が四層影響でし、昭和十九年時間著目標の足的新感染の意象が決策に入日平・開留、阿村鮮事・り

イツキーズ▲委

同・ロンドン放送のWへる所によれば 南米コロンピマ共和國政府は七日 産業服を顕行したといばれる

胜便

內匿總辭職 七日回思

コロンビヤ「リスボン

申込所 鄭宗縣於殿所為 櫻木 書房

し崇褒典を任命

した、被監察大の見込み 住宅加坡に高性影響で多数又下イエンゼ、トラステブエーレ等の ローマ市に来場、低祭からオステ 

道割當等《決定

委勵獎蓄貯 會**咸**幹會員

戦を決定、同三時間質、なほを より意見の具態があってのう原 より意見の具態があってのう原

方針

霊忠無私の一發はいさ の射撃位置を求めて伏らも沈着に確實な必中 臥機關銃座目がけて魂

お金本一座兵を改容さんと中田少

せん、自分は自緩い沧します、

れを退け凛としてく銃。

げた、医十一時二分、一般

につき次の通り

めるかは目下大陸省において売完

忠さる

ローマ市住宅街盲爆

當のこうが新たに許可になつた

米英石油會談開催

となったが、会らに総合語の田宝田の東京家団部の現代はして「松市田田宝田の東一家に関う生職電社の組員、の第一家に関う生職電社の組員、の第一家に関う生職電社の組員、

地で温暖し外

「回じつき」圏

【肉】休日出動芸館は一回につき

質の死職によって似は一時が戻せ

とのテニツコ總議の登場と応書を大学に比較がおありです。こして再び態度は金本一等兵を表けしたよう優れた

エツコ機關銃は一瞬に

「ラベウル八日間盟」大日で前二 ユーアイルランド脳カビエンに版 B24世三様、P3四様が突寒、つか 所在部隊はこれと変像した、 るが

【南太平洋〇〇基地八日同盟】 治

双發一機屠る

に関する件を形令を以て八日公布

解所第十州生で治暦しかも活識、略浦九一五の出身で京城志徳定部

の 上温減をのって自然像切を破で部 し にぶっき銃銃を験長に託して比然 が中職を浴せて制器 首音変音表 射撃の名手 金本一等兵

対象し面面 金本一等兵は狙撃手と「正乱け上り自分の身のき、この時特別志願兵、屏の敵弾を冒して高のき、この時特別志願兵、屏の敵弾を冒して高いませんと誘導を置き潰してやるーくと

はその一般を観響した、わが万街一家なし、双建樹一般が来郷、わが所在部隊一家なし 大型魚雷艇擊破

砂点の単独を製造した、わか方型和電路一隻を製造した、わか方 医療を推進、これに猛闘を加へ大 國海軍水上被部隊は六日夜間ブー

攻撃を加へて來走が、わが所在部タロア県にも破職不明の十五種が これを歌騒響地した。わが方

米艦艇九百隻

疑は含んでゐない、エセツクス

英軍陣地を强襲

保険は職員であり貯蓄である。

を飾つた▲これが日本

宮の武士は、腰を切って死点時にも除式を持って死点時にも除式を持ってるた。現代の武人は旅に配づて最後の突

東京独町四帯町一六、林式伽木海本部でや子供、老人も昼夜節軍に使用出來る

管とは戯木的に握かところである

而國生命

日配任挨拶の風吹祉

器体性与おりみ

胃腸や身體が

メキメキ丈夫に

みづおちの固さ/

消息

マユ山脈西方で戦闘

ノツクス豪語

一六日夜間アラフラ海ケイ語間に歌 **交帳―米國海承長官ノツクスは七** リスポン七日問盟】 ワシントン

## 機密費規制を强化 「リスポン七日同盟」ワシントン・一条第一東南アジャ軍司令部は七二、い、「七郎」カス

令制統理理 上 世級 (長級 ) 1月十日 の (長級 ) 1月十日 の (長級 ) 1月1日 の (日本 ) 2月1日 の (日本 ) 昇給規定

※19年1回と定められたので意此は定期界給の時期を定め主務大臣

は、 の計算を別値にして思離すると共 の計算を別値にして思離すると共

一時間湯する場合に排除主の版が一時間湯する場合に排除主の版

場合の家族の出頭したる時、

る計算な官分の三・五、月額官の最給率は月額官五十間を割ゆの最給率は月額官五十間を割ゆ 「行いむることとしたのであるが、 不改正の電源に留り高額にこれを 行いなることとしたのであるが、 強等とに分離し、その規能を催化 に耐次これを合連的水源まで引下

が、九日附官報をもつて欧

と共に向会成正施行説明を公布、

きに大陸省よりその貴子が確認



### 日、一百圓迄 非常時預貯金代拂ひ限度引上

を担ぶと同時に、報源による増配 が を担ぶと同時に、報源による増配 が を担ぶと同時に、報源による増配 になるができるが述びらなればは、

に間でいるれることが温ましい。 避力といつた初點的な報解も明確。 例へは生活物質の陰配、恐鹿物

の動揺の監督は「大陸等では公職等罪」の地震にも地上では公司というとは、 一度の場合の対域に対象と、人口を回しているでは、人口をの場合の対域に行うと、人口を回しているやうな人は必要している。 「人口をいるのは、人口をいる

を記憶の生活総符金の機保に再会 一百四、一ケ月五百回窓に引上げ 一百四、一ケ月五百回窓に引上げ は損貯金消襲および便宜代掃訴求

應召者等の昇給別格 機密費。從聚 瀬用することへした

題の関合でより計

も、外袋や高色をつけてはならぬ。

思いな問題でない。国心

き五十銭の

同じ日本人でありながら、武人にあるのを見たでありつ。ごれでは

いが出來ない▲戦式が終って

2

立たない。一般の歌が記される者のことに、というで、一般の歌がいない。からない。別の歌が歌がいる。それというというで、別の歌が歌がない。

E D

法全

ってあられるか』といふ態節は成 で晒すかわからぬ、作法なんだ云 とから 『巫戦下だ・いつ 宮城で身

要質ありて多量の湯を使用するに好適 医臓が嫌で、緊ਆ、横型・防湯式の各 医臓療でした。 常誘能力迅速なる後弱 に機態をした。 常誘能力迅速なる後弱 に機態をした。 一般の場合の名

は左記の金額を導えない範囲におっていた。

で 数正の二階は次の通りである。 男子給額 ゆりの急災治部順と手雷 の一部は次の通りである。

院合せて居廃り手幣、宿園主衛を作み観診時間の延ぎ、休日返上等 手幣について特に

があり、これが超、斑と別れてあ 部参照日の早期常治をもつと図格

今回の欧正中、勁人、傑給生活活一部のて八十五個ブラス九個で九十

で 美しい 郷後によって上下の別を明で 美しい 郷後によって上下の別を明で 美しい 郷後によって上下の別を明 名に於ておのれ自身に行ふべきも 観念といでは、これほどしつかり





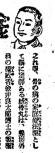












骨屍排金 土造へ日の病の手宮法)歴了を一 者に際ばれてるます。 であらゆる母の病を見出させ智能 人一朋限り遊話いたします。希望 初めての方へは、舩井良太郎博

**着は、東京市小石川路小日向台町** 二丁目芸士二番地、船木コンペー

· 整形外科金井良太郎博士述

東で出級、山木知等の案内で「路」 「ボーニー」と、後別の際に作られを総官の間と「する総山へ向うた、今日は大副経際日 かと派の際に作られを総官の間と「すると、被連の記念とは日の仏の似が「立って」 ひって お連り記念とは日の仏の似が「立って」

型 『やーこれは大した報だ、何羽 は四のであるかネ』 と質問

二二氏の冠を部間した 伊藤氏は先に京威で催した網鮮 勝意主性の全維網脱家継続官に 出席し一躍『豚の蒜山』を知ら しかた人である する・

窓を行うた後膝と編の弦を主とし、窓を行うた後膝と編の弦を主とし、

けこの温暖の戦別な

斃れて後日む金本一等兵

湖足さらに選ぜて見て

個して在頭指導活動からなる特別「同じ然々たる歌意を活識に貼し、 「別の流々落々に説明した芸る!」(新述の不調などを意識して総観を が観の流々落々に説明した芸る!」(新述の不調などを意識して総観を

十三日解散式と報告座談會

説質を十三日行ふこととなった 刀朝鮮殿盟では解散式及び報告座

收めてこのほど全員勝城、國民総に指車をかけて破損以上の成果を

告をない、変質数で理察を挙約したのち、験伍を組んで抵信等。業會値に行進、同二時半から同じのでがある。 國民健政に次いで際員を代表して一致語、擬行がは合唱、野済馬底を一小森橋級の告望、皇國臣民の家婦

本部長の疾援、來發院群、ついで

尋

ね

あ 爆日沿京の 風本公

旗を撃て なる P10 よう 選 片ス

田の八日午後、語やり組含事物所 に平認趣含其以下的地質事業り、 について漫画資源の語彙、登組合 したついて漫画資源の語彙、登組合 したのいて漫画資源の語彙、登組合 

することを明合せた 街の功績者

場劇於日京 場劇一第 場劇陸大

四署 公汉

總聯で二氏表彰

體イ尤

恢河间间间

場劇央中

城

習易協會解散總會

华高智易通じて大きな足跡を印し

ます。本展競技は平に勢震派が就後國民の威意を追揚し、戰力増進に置すべく、

経過 高地

(単大会出征兵の世) 改し

京 灒

劇

會場……總督府美術館(等手記號門で) 記念国次戦実が反形 場…總督府美術館 (学的)製門內)

一般一干錢 主

銀獵山口商

會

| あ | 場 | 日本 | 十三 | 日本 | 10 | 日本 |

缺けた。 常在戰場。 の心

任も勿論であるが、一方派をに料 百廿萬府民の足を強かる京龍の登庫内は叫喚の君と比すであらう、

强

本社、奉戴月 奉戴日に

H SEC SE 

院是果果 (冠東局の一、三八〇巻)

食

関係へ 連絡の地名に登場で、通過である。 テロキシン BBPCはて通過でいた。 三共の植物ホルモン剤 三共の植物ホルモン剤

場劇花桃

更生向上に ・ と中級氏は各へる ・ 関係性同か』 『乾草した羅羅 ・ 関連と概を主とし日線の質もやつ ・ てごます』 でいます』 「最いのは一ケ月廿高がです」 「最いのは一ケ月廿高がです」 「最かのは一ケ月廿高がです」 **荷庭に作られた豚小屋の前に架内と質問すれば、伊藤氏は反駁側の** 生、向上してあるよっと併勝氏は答べる 生、向上してゐるか。生、向上してゐるか。

『あれば何をしてゐるの』と聞けば 留めればそこには七、八人の朝鮮 服の婦人が群れてゐた 等と破淵に互り路域した総塔は、

『はい、私達が指導してゐるの』

語のやうに前く減な引き、一般はの というに前く減な引き、一般はの でうに前く減な引き、一般はの する、砂盟を深き、小石をはね飛 朝鮮婦人が助殺してある、自動車 目指して激戦する、約一時間半後はしてひた近りに走り一路北方を

一勝恥して同三時二十分中川青陽窓 ばしこの日の金行根質に百七十キ 山を後に、温陽へ向け自動車を飛

に使然、時には膨をからめて作家 中川部門子に残々と謎し、 てくれ始へと

金町を添くて午後五時職は清福舎神といる銀行軍の破験地域、波励行

半島中堅錬成 変通点で | きせきから中間目が第三回、せも交通局第二回 原城地方 | 日本で経り同様版を 質調・引機 を 日から世一日窓第四回を実施する なは四月からは毎日中閣が小真空 がは四月からは毎日中閣が小真空

加納氏、軍司令官

を收めたので來る十三日から十七一成を行ふ

榮えある特選も決る ゆ(岡島正ど)願道(公館書覧)教施班(創筑路)決戦の女工員教施班(創筑路)決戦の女工員権(早川樹) 日本建の部 第1席(朝原要就说形式)」安子從身際與我說形式)」或師肉說問樣的一人或法則 降1 京城中临时大川通五の七二 ( 吉村忠于(特通) 報車隊(李進 吉村忠于(特通) 報車隊(李進 五一巻) 常在報道(越鏡枚) 55 報道(石見籍江) 

総能を助と方に、一果、晴れの朝鮮田司合官、朝鮮田一

無上の榮光に威泣

いる質に棚の経営に促ならな

學友擧つて

翼へ百五圓献金

| 田職たる美の 祭礼 | 天

大変の部では 東端に報じ場形の部、第一席(朝鮮車 第一席(朝鮮車 第一席(朝鮮車 第一席(朝鮮車

産を誓つて長兄鐵太郎氏談

に関わて今年から無拠遠域の海線として配別に加はる日を得らわに関わて今年から無拠遠域の海線として配別に加はる日を得らわ

弘)々大上段之材々(日声守)・野工を)々幼舎忠城々(三木野工を)々幼舎忠城々(三木

無責任な運轉手

理は国際原言・の影響、関密があり、を見むた、それより、同は本地内り処理はは一同を上表して、一年を見感、関手と一はいの意画・開手とはなれる関からの国民となり、ビーはいの教文を担へて、午巻三字子」 手はឈ路一丁目附近で飛降り、 の居ない危事は一路延路高級

ケ月、照場一週間の治院を要する

野ごとの附名を目下取酬べ中であ 1000円名を目下取酬べ中であ 半島農民の電流向上を綴る目剝ら

に布を聴うて数を防ぐ背勢もあつ 随き通りた

選出国の上のために連続した小弦 第2版とイエロー後三段半から景 な治管地と日主十五氏を指して歴

は十八年度から始められた新計盛

本でいる。

炎スイ炎

学品與民を指考をお手本で引き

つくりさせた、こそれがあんたね

ですが込んでくるといった傾倒 敵呼の壁で結ば、やれくと

微つも微つも振らてきて本人をび

マのではいってもこのがり元為をと田 知られた田中さんが、歌師との を対さされば、とうか日 ればその同年日時の役割の時間域 大が続くますやうだいからお の価の婦人の意識の中に話しく言 がリンましたようでもととうで つていうたともいくる、夏かさ せっこの悪いのにおかくと かくの業部で知名の十の回じばく 取りましたけ』

米のとぎ水で風呂

Telと 京風に留る 兵士はあ事

皆んな喜んで働

| 尾ノ道から遠々死城したのだが、 助公郎の召姫ひとなるべく歌陽城 が明治廿六年士一月だつた、林緒

恢びする男となった、砂えて卅七

る、総ごとが出来ない。物が不自由だ、同となく不安心だーの。然ごとが出来ない。物が出すら生態可へ離なして続い出すらとじてある。然ごとが出来ない。物が出するとして。 そんな、本作的な神経療政は花街から排拭せよといひたい、

たちに観響された、探げ後、左右闘師があつだればごる法語のあり頭かしい歌謡も生れた、『今時の不自即や主味は何でもない』と答辞の縁人起歌語の近月ピラいて京場四回町町駅で寺場内に本居智大能を総む田中カツさんさしに多く

不自由は行きものをが、現在のに不自由は行きものをが、現在のに配給が不同前だの、風呂が

金の指導にも従ってゐた、大歌が

オークだ、下京が称り使れたので或るか、足様さんの部門に供したこともあった。 たいさんの部門に供したこともあった。 下京が称り使れたので或る

を除くとパサツと歌がして根東が日田中さんが着数へようとして概

**養直進前 智思** 

(5)

★日降の役に京城の花街では
・ 日降の役に京城の花街では

も思ふやうにならなかった。

の記しい参は「人もなく女といふ。 頭女は空部 大神宮 も心やを逆さんと 一大神宮 も心やを逆さんと 一大神宮 ち心やを逆さんと 一大神宮 ち心やを逆さんと 一大神宮 あんやを逆さんと 一大神宮 あんやを逆さんと 一大神宮 あんでを逆さんと 一大神宮 あんでを逆さんと 一大神宮 あんでを逆さんと 一大神宮 あんでを逆さんと 一大神宮 あんでを逆さんと

挺身隊歸

時四十分全員朝鮮神宮に参拝率

十日の四連記念日を 入場者は必ず献

整へ形内四大百貨回に

明他中の本社主権大陸

を期し過酷は認務局で決定した映整間興行の疑問と概念の自愿似底

関の大雄、中央は右のやうな溶 関の外に遊がれ、従来の家入れ でめる

映書館の非常措置

報道部川崎大佐らを聞へて訪れ の八日午さぶり、旅湾 軍展団場に大部華戦日 をが、これに伴び設備と交通の反 窓脚を感止、対切能は関種の映遊酸により、京城では従来の紅目二 器の上級及び賦給に関する非常指

によって級差を設ける人場所会が 八目決定、映選の上院の非常指訟 質上の協画一回興行は士八日から

場料を従来の辿り九十銭(程十二ととなつと

に挙げるのである。登見られる映画の感謝を

茂雄(三)▲京城五海町一七五岸山坳(三)▲京城五海町一三九ノ三二端川勝

○金本離風~ご▲京樂報刊間 內对面是原語處資~2人京樂報刊間 即任而10人工來受別等之 章級 順計而12七 木下块部 (~1人家級 都底部区回 四村 秦城 - 東城竹鄉市 7九八 國 本 第五章 - 東城天路 1 九九岡 村知興《5.5社 名

府氏よ科學心はいつも持て を出すこともなかったのだ、かゝ

ス本性三月の大田製造は八日午前 大路学より配舗記されいて駆行、 大路学より配舗記されいて駆行、 工意寺田舗散奏員より図出郷力明 の世間で強金が進中の飛行 のとは図めり、本此、文紙、拠 ものとは図めり、本此、文紙、拠 ものとは図めり、本此、文紙、拠

號地費

决為 勝獨 館畫映信和 館 花 浪

座富新

場劇洋東

出る、そこには「米の語山」と語

はれる脳工芸事が展がる、見設す 第一年、大長の部村三郎の三氏から増配状況、將來の計畫、多線管 で理など全部に官り詳細な説明を題 いたのち、午後二時過ぎ設定とい で現場に耐め、坑道を約一百メー 舌の

か労励者住宅や、精核場など具さい労励者住宅や、精核場など具さ

量三越、三中井と各百谷四

響ちてし止まむ~の

なほ否能在委員の出品作品は次の るな低戦客中の負易活氏名は左の

◇第一部々訓練々(今田殿一郎) ◇第一部々訓練々(今田殿一郎)

覽料

後 援 朝鮮美術家朝鮮軍報

家鮮情 協聯報道報

地をもち、黄海道信川沿加山直に地をもち、黄海道信川沿加山直に 會盟課部社

飛機献納に力 

あの旗を撃て 川TD 智慧で野 川TD 智慧で野 ースースースを

會 座日朝

若 座治明 館樂喜 劇

本川の榮馨これに過ぎるものは が有難い強詞を頂頭致したこと が有難い強詞を頂頭致したこと を
感放してゐる次第です、あれ は、
比較自然を寄げて大意の領域と

「を奉不一等長は、第一陸軍兵志」

「職者訓練兵第十歩生であり、同談 欧たちが春を述って、けかも急間欧たちが春を述って、けから急が

行てせつせと願いてゐた、劉太郎暗座の赤磯燃えると明に一家を建

い責任觀念

僧を明き、人選作品第一部世跡、第一

一百一覧について最後的審査の網

輝く特別志原兵金本定信一等兵の

一とでもう、酸々浸に削め 質慮
 会乱機の影響のお客しの日をお
 会乱機の影響のお客しの日をお
 本事例を加てるやう 薄削して
 本事がを加てるやう 薄削して
 本事が、なられて、「変情に歩り」と「整数して貼り起動へ高、青紅でで自由としてかげながら水板。 素なのですることを窓った
 がて自由としてかげながら水板。 素なのですることを窓った
 がて自由としてかげながら水板。

と認識して強り思動不識、暑れのに努めます の借れを水運に輝かしめるやう

際は影響を響て、即日人選作品 班等処理とする形在委員商を明き

表彰式を午後一時年より不社別館

築地君、

故金本一等兵を語る森本教授 百世名の根女よりの解出金百五回 を八日稍見奴隷が持郷不配を防れ 地行機塞遠部金として眺金方を寄 一

正 71 以下自士立篇の人情報方を選

「別」以下自士立篇の人情報方を選

「別」以下自士立篇の人情報方を選

・暑れの總督賞

綴方競作の入賞者表彰式 被学用核長にそれぐ、線路が自然、安見は他に財産はれて参列等、安見は他に財産はれて参列等、安見は他に財産はれて参列

と戦勢を並べて、午後三度表彰式の刑待に添かべく労のます。 決議を示してこれに答へ、平田 は一点いの意

原生の大阪し派客十二名に重傷一の三三八號に派突、11九號の軍

半局に 16 百姓

0).

お手本

一窓、即場に入れ、脳歩した部間法 地の嚮導農家、けふ來城

いて概念することを中白せた

「第一放送」朝(六・三 第一放送」朝(八・三 第一放送」朝(八・三 第一位の指型のおもむ、の個型の自身を認識。「1年生の時間 解語は41・

★ ▲ 〇・1〇年國歌語『大松 第一年 一・三〇民憲沂の時間▲1・四五 翻場的開発

六五 四三 二、

場劇南城

窓内が銀貨機の「元帥総合をめ」です水筋新燃機は、晩報の郷へ総一かくて多年の概念でありを早島水の場合では、いまり、「こう」と、「こう」と、「こう」と、「こう」と、「こう」と、「こう」と、「こう」と、「

質的完成等を急速に必要とする

文は避見、マグネ部門に於ては無水療化マグネ戦選の技

四月から新機構下に發足

版の一途を辿り、本生 万芸人

至上命令たる戦力増弱のための総

九年度國民所得の総額は大百

の限界が見えるが、資金は必要さ

従って、証金の賦行が大きげれ

期間中は独官金、金銭信託、 漫画に買って金銭的に展開され、

內各和生體資金の涨間的需要到大

によるものである。

内地における十九年茂の生態は「が、際間になては気を残れの態态」とよるものである。
て多額の対象が関内に繊布される
である。
「の地における十九年茂の生態は「が、際間になては気を残れの態态」

ゆる艱苦を克服

半局の十九年度帯容目標数は前一されるのである

15 等々をめざして黒蛇な貯労漁の選り

め國民生活の徹民的切下けず祭職 問題記念に不能するために貯蓄せ ねばならぬのであって、これがた して紹行し、陸区公園に服勢し、

國民生活を徹底的に切下げよ

る際観察の養に行き選手 | く、魔物観形に弾き攻陸横が攻急 | 両用と根ボインブン防止に攻迫を上で撃力を施せって、対ちとを隠憾して、攻急を関係の大きになるを呼吸する関係にあること、、ならとを隠憾して、攻急の動脈が変し、これが決定の動脈・ることにく、ために無意識のうち | 東な物質や勢力を爆撃する関係という。

半島水產新體制

重要機械に統制

忌速に産業面へ轉用

管理令を施行

産業機動體制を確立

が、なければならいものと地域 耐難性とつくて裏空の着性をと 関右神がある。 施空線がいくら うてのる団を実施したが、これ 出來ても、石神がたければ称、 じょうて明かじぶった地は たいのは監察で、航空線の生産。 第一に石油が建設さての前方 は、からなとなった。

を阻害するといるやうなことは、 を阻害するといるやうなことは、 確認に人らないために、質材、助い。 全く間様に取扱い、 位うて電路

重要工場

事業場

激制刑所に当所であっことは省 ◇… 航空際が、十九年時においよて 選を

於**國際監查的**的實子川斯克

職者との誘惑といては、市態需要と ◇……元代献において、油田を 田と共の京郎テへま方和、瀬流、耐油観であり、石油像は聞とし てあるやうと整治など続いてる。 海口電像に関していまれる。 第八名 本のありゆる 第一名のでは、国下間で、 2、大のでは、 2、大のでは、 2、大のでは、 3、大のでは、 3、大のには、 3、大のには、

神泉城三七二〇三世泉城三七二〇

風高

血壓神經痛

不

ä

7

て世界第一であるが、國内には、変化がベネズエラでも展開せら

暖と療に

原管支

原因を明に上

たた

今津博士の素晴しい研究

か本紙を切取り症状に印をついる 今津州完所へ適点をく行

米、ベネズエラを狙ふ

航空戦へ石油も作れ、送れ

影響を興くる、アメリカにとう
関新祖の智慧によって歐調に計
歌原するか否がは影響に光郷な
における人選行油増高らまた影

□ の班く大きく、底にロイヤル、 高英、甌石油曽社の郷力はかく

等感似はいよく遊化するもの 見られてある、なほ戦前まで

四十六周回の増加である、何この

所で緊迫してゐた オランダ系及びイギリス系製油 部分を監領西印度諸島に送って

様で、今後ペネズエラの石油資は米國の連出を支持してある複

…しから、ベネズエラ政府 市窓性が多分にある

一個・三個・五個

しいものがある ダツチ石油智能の活躍が目覚ま

結点となってあた

一部であるとも関係を担て新一二工場へ派遣

路標左の如し

十九年にごおいそ 遊ぶ必要とする

石油もまた思ひ切つた大将南計

ころであるが、これと供行して、程および康園務和は、石油の生局のしばしば、質明してあると、氏の時間に寄し、真体整強協能

でである。 を重配を表する。 をできまする。 できまする。 できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。

管理令を施行するととなり、東上中の企業の資金物で完成版と活躍中であったが、この機能的に発展されたのでいたが過程表を適用することが出来ない意思があるので同意を通行するまでの 原係機能として 重要工工場、事業場に 對この活動には視覚の現日を変するものでかられ、一方無路、咳臓、咳臓、咳咳・咳を重動に対して変勢、耐度及び臓どの他の刺このが、

用石灰石の供給は完全に徹保されての供給は完全に

次北邦定とすることとなった。な保管銀工場の版が、認識におる管理部は、意思関係のため工・変質なり。正義語の説師をして無比せしめる 輕金屬、車輛、機械、造船の五重點産業を對象とし、その内造船は同分施行と同時に第一型が出門一日を期し勝急ので管理合を施行する方式でに置影響を選手のとってすめて、鐵鋼、 確認能の総合問題もここに一度落

機

運航高度化

を期し彼足した射鮮の小型電影燈 建能を進めつくあったが、二月末は年度内〇〇茶鉱設計班のもと紀

翻繋影地画の要請と共に援助版一すべきに共ずと機管的はじめ関係

新田、朝陽殿軍、東洋町金路、

期除機械、期鮮期所、朝鮮石油 商園遊、小林新選、遊山蟾里、

方面も自信を得て建設に巡回しつ

京城でも質施

億九千餘萬圓

治六、EIOOA保険及び日金支が

て死命を制せられ に統制のとれる

> 一般中〇・五分 V·BI含有量數法特

100年

遞信局十九年度豫算

程,是一个人的人,但是一个人的人,但是一个人的人,但是是一个人的人,但是是一个人,但是一个人,但是一个人,但是一个人,但是一个人,但是一个人,但是一个人,但是一个人,但是一个人,但是一个人,但是一个人,

年 月利子収入の増加三子・1百十七 期間・完全第金の増加をひこれ。 とけら連用利子収入の増加・百 とうしい でけら連用利子収入の増加・百 と でいました。

本別は强力高單位のV・B捌にして鎮暗、 帯楽の解語・排除及び神経細胞の賦満、 帯楽の解語・排除及び神経細胞の賦

其の他、食慾不濕、胃肠凝力症、

乳時の築養補給にもノ

期待し得と。
朝待し得と。
朝待し得と。
がごに由来する處大なりと推定せらる。
妖ごに由来する處大なりと推定せらる。

46 可能進市國大。社會式標葉工品藥田武 为夏發遊襲

九十九萬國であるが、前年度と比

順上でよる十三百八十五畝同と一巻計で二千八十二萬回、舎計三千 増加の主なるものは並信料金の 、萬國、朝鮮間保及び斡旋年金等別

見るはずである

八日同盟コオークラン

100万田公文品

有馬・斉山・太経 三博士副師

で戦機に振激されてゐ ンド意祖フレーサーは ンド意祖フレーサーは

米機八十を撃墜

獨空軍伯林空襲企圖を粉碎

勝子ツベンパーガーが削級で重像のニユージトランド第二肺腑長少

結核

ヘアペルクリン反感・マントウ氏反應

武裝船士二擊沈

同四一般大不管

一六五人保險署第一強制金の抵

小型爐の出銑向上

船舶統制會の機能整備

# **三州港关系部的**的是人

度性を動せしかもうて硫宗教を中一會批字に売き資産される會批、承要な観に近づき域際生転力を最適一能を確立するにあり、後つて重響な動し近づき域際生転力を最適一能を確立するにあり、後つて重響の観点を観点を 生産責任者を全面的に徴用

響源令を履行することくなったが一とである。而して苦し指定的社に批核ところに漢語の情報。工語に一種限の増配数数を根据をしめると

の指示が影響的低中であることはいるまでもない、職業は二九として航空機の地震を一つ為にはその主要構成就がなる響を膨

こしてあるので、魔工局は遊休示・返の度を加へこれが打開策を影響

物質管理管層、U装置決定するはずく明年度の生職計談に基いて軍風

になった

**沿開催して返組に伴ぶ定款選択** 

から新様様によって観足すること ることに決定、いよく四月一日総郎版、水南戦盟等を吸収合併す

『観念れど形域なり』と削減からの放脈を聴く、まさに航空・「観念れど形域なり」と削減からの放脈を聴く、まさに航空・

風流震撼方面に動する低温出の像工員点の根拠の空間に液酸を 原料を歌感に便用する歌感で明整石、雙行、平郷がび愛女、生 原料を歌感に便用する歌感で明整石、雙行、平郷がび愛女、生

限られた原料、資材に 

3万に配度があり、ボーキサイトの輸入に駅間の知便解がそれ イトに関係と依存することは許されない、北支の郷土買居は輸 即も別館のアルミ工製が北交の磐土良岩又は南方のボーキサー

かそうと関節の緊急関係間には影響、関連と概念解決まなは、影を輸入することも忘れてはならぬ。 三十十十一 この米最近の原料をる銀石の原料をる銀石の原料をる銀石の原料をる銀石が設置、水配石が設置 は三百キロ、弗化アルミニ十キロ、

三部部合は先つ。経色域の推改から続きるごとを専た。初れる勿れを添する誰りを受くるも無明の総地はあるまい、 施生機物能の成を混雑し、又は回避するが加きるのがありとせば、 國際計畫 若し萬一にも滅電な口質を設け底は陽路に掘口して真白質の進
てもの事を極めて妄想に指へて喜故を超すなといふことである 特に弦談差者の汪斌を吸起したいのは、雑誌が馴れるにつれ

## 新防禦戰法奏功

おいて攻略を加へて來たが失敗 イツ原は赤垣の菌頭な批抗をナルバでは反戦作戦展開中の

関境がからドイツ本土上芸に従入 後期時半有力な戦闘機隊の直信の は六日白紫ベルリン市の域線を企

【ベルリン八日同盟】 米取配公原

獨米大空中戰

でペルリン市自向間とドイツ報告(広東部歌談の場話とつき八日次の 原は東部歌談問事組織の認識とつ。 何り独奏した 同は東部歌談問事組織の認識とつ。 のりまました 南部赤軍の攻撃完封

報告の長期は、 別名の記述の独議 第四の長期は、 別名の記述の独議 第四の長期に、 別名の記述の本語、 第三日目を入ったが、ドイツ頃は 第四の長期に、 別名の記述の本語、 第三日目を入ったが、ドイツ頃は るに至った、南部地區の微範中心することは出來ないが)を採用す ・南部地區における赤色の攻然は 砂兵部隊は協語した赤里布隊お押して指出をつづけたドイツ軍

中では、一つのでは、

一、スモレンスタ、オルシャ门町失敗した レジナ河とドニェブル河の

| 対応を行びつくめるものが相当に | 域形を行びつくめるものが相当に

し、半局は未を設備の新設又はのと観測されてあるが、これに 

行けば必ずや目標を造成するもの

であるから、新年度もこの意象で

のゆる観音を原展してこれを成し窓。 脚が緩緩必要であることを残らは、

二月中に目標を突接してある監告

戦する質量も非常に忠成領で

には成力増融の根源となる貯蓄地

敵米英との決議を勝ち扱くため

る、本年度の貯費目標士二 前年に比し五部均加を見込んであ 八日の府談経院委員會で正式決定年度の登録を勘察して十八院園と

後によって護師強念よりも一ある。師ち第一に多数の影響が置しる義がし、政念を訪問し、母金を請し、政念を訪問し、母金を見されて、新聞が至瀬県王東一がとかく戦んなどれやすいが開び一は大きいはと歌島市に母金の別報

た。徐朝刊は四員(月曜、木曜二百〇七)識・最影響を子 郷に願し 明十日より夕刊の發行を休止することにしまし 敷料であります。何楽和智楽順ひます。 失をなし、帰告則も報道間と

に赤垣城里三百五十七路台を取

歌局の総遺に揺び、新聞用紙の消費も達大阪に部約し、以て欧力順に重需輸差力の 増加に弱力すべき状であります。依つて本社は合国政府決定による決議非常指訟要

日より夕刊休止

明十







ふら世を加討で釈迦樂い良。 所究所等北部台



ルリン市の外壁に放送的に激縮をドイツ空間の激響を受け四級、ペドイツ空間の激響を受け四級、ペドイツ空間の激響を受け四級、ペ

な感覚である。なほドイツ田宮局

米機殊規企副は失敗に賭した旨徒

「リスポン八日同盟」ペ おる

イラン内閣は熱陸職

(解說贈呈) 龙元

數流 酸氢 丁商力

性疾患、パセドウ氏病、中状腺・

T.

爲體

遺族

E=

が、1、11時は 免税

要綱を左の通法定制度性施するこ

可多多

一種行酬側の同一場間におけ

五、則行許可に常り

一等は十億であつて

は三幕以

內

島別をかなぐり指て、去る二月廿 日献呼の屋に夢られて内即〇〇部 一次で、度ちど〇ペ四部に配版 でれ、初年氏として上宮の命をよ

公に一だんの権身を譲つてある、

盟国(同点性大裂在根)は散然と一層に関ひ際民の政策長くを順窓し、別院権が明九七等指揮氏長曹祠一礼ら上宣慰友のお嫁だとと戦勢の一 懲生活が約<br />
が戻しき<br />
一友愛の<br />
夢めからその<br />
思兵のいか内<br />
所の<br />
単國性<br />
語

/選出し巨人時神の把握に粉骨精

一般観行軍務に制陶致して居り(前略)小年等一同お既を以て

高級興行の閉出し感々本極り

展示が出身、現在電視高工の跡跡 は一年年間にどの入風、作足は時代を観得しく加震等帯見すば、 至ってあるが、半点に向ける電船、銀際線形にに明れの規能対す会議し、 回場等の指摘となって今日に

山西省風陵波の晋昭和十三年七月廿としての正確さに

軍司令官賞に輝く加納氏談

で一つ次が司令官がに置か結んだ。

けふ府廰で晴れの傳達式 御下賜品

音氏名は次のナーション

0

打開

に買って裏具、耐障を上中心として機があれたはら、半 開源するがたはら、半

(1)て戦か为曲を 人しぶりに内川をみて非常に得して、耐魔を」と意見、お土藤副を聞うを と意見、お土藤副を聞うを

版は殆ど藍河の測能登間にわが結攻に耐へかねて縁に

作品は次の通りの類々(音服売割)クリーの類々(音服売割)クト 「服益男)々大東西市設

| 高ポーキサイド、または戦車五十 | 月游一路|| 千穂だ) を辿るに災す 焼歩

### 腹八分目の心構へ は、多の物質をつたとは認識の同園のである。一方性制に膨端したマジン部のである。 大一方性制に膨端したマジン部の・ランスの問題の量を由限は、動・ランスの問題の量を出限は、動・

さない、節約に敵し物をして腐した問題にされても指数が向時に を得せしめることこそ地語情報 する均衡であるが、増削がいく

よしに切大を物

力戦な派立ばせか活

れたが、腰にこの一言五十 質行すれば一年で一百五十級石の もとうで間にが1日1年の間約を

に村漁農に揚工 に庭家

### の元素

んであるらしかつた。どこで飲

成力の板端が生れることをこの際

、特が心を含せてや

必要であり徐うてこれらを 作るに要する他気、石炭、勢力な。 作るに要する他気、石炭、勢力な。

意味とこと流刻風の成果を堅持す 銃劍道大會

器も回言さにげらくと笑 れると、その男に身をおこし、 度、親痛から議論が持ちがけ

前のせいか、六時を二寸過ぎ たやうに、一隅に抑默つてあ は製作の意象大なりとし、このく構能着手の劇製術『魔の山』と構能着手の劇製術『魔の山』 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

は、近隣の変化し友を引近で動き売にし友を引近で動き売にし友を引近で動き売して着からは、大幅板のでいる人に、 一般の変化なりつく自気が向るころとに、 に着もまたは約るや に着もまたは約るや | 上映中 | 應へよ | 一億の限りなき感謝は、 一億の限りなき感謝は、 一億の限りなき感謝は、 一億の限りなき感謝は、 無敵不敗にはない。 陸軍、烈しい決戦のき皇國を護りついける 決戦のさ中に迎へる 念で中に迎ぐる

明若京大中京城雪塚劇 劇場場場場

# 増産よりまづ節約

半島勞務者は大持て

同大年から、郷立能規(傾害と)風(然・少を問め、同十三年から十五年まで)の勝い。 は一年年級にどがくめ害疾な地・東京都に対する時書・河となって牛肉になく也害疾な地・東京都に対し、強・昨年は特に 一山原元町ニアニの自宅で同氏は

決戰美術展

決戰美術展第三部、審查委員出品 查委員出品 第一部の審 · 北京文店支配人代理(北京保護 務(天津支店支配人) 栗本柚三

やのおやおは、京た、 ほなしに、だらしなく見え

のおやおは、また、耐臓を相手と関係利を客に著出し、おでん

り】別項維告の通りり別別項維告の通りり別別項維告ので、現との小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作 能短信

院第一門衛老十



品製學化城京







どつと笑唆が超っ



な置ふところだつた。帰はその年嫁





よ。そんなへまは、日本は関して

の道器を釈道化し、

『へきなっという。しかし、金色こ

であるんだらう。 人用CD が にもならない 色階級をあて た。あの自随の額をは アイウエオ級で一つ 鄭支延(繪) 医学博士 **中橋幸馬** 西小門町四一 電話光 3/960

で 可能などもならない包含調をもつって つびてやればいくのに と、 國際は厳格してあた。 と、 國際は厳格してあた。

なことをしてる。一

(V)

[9]



行等級別に通行稅

→ 対元原、二等六銭八厘五毛、

10、成第二、00、隔超二。 10、成第二八。00、态度

麗し戦友愛

强盗殺人犯'用

丁二百杆以上は免税

來月

日から旅客運賃値上げ

學兵の家庭へ温い便 の發露 b 絵匠と衣祭など変取の調盗殺人事同者かに絞殺され、現金三千六百 ひ職人松本既職さん言の及び回家 さんでと方の留守宅で留守居の歴史の初書町二二二十文戦派が138 事態の指揮の下、盆 帰職さん(こ)の両名が

△1三00キロ茲 1等九・六〇 1番五・六〇 三等11・四○ △1三01キロ以上 1等11・ ○0、1等七・○0、三等三・ ○0

Δ

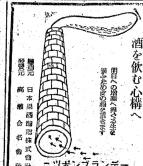
況印

下

ない。あた

なんを一つ

杨能





無限製品